事業内容：

①　海のお話し会「海でつながる子供達～海と食と環境体験～」

　　　日時：平成28年7月9日（土）　13：30～

　　　場所：淡路市立アソンブレホール

　　　内容：神戸大学の川井教授を講師としてお招きし、瀬戸内海の生態系、海の環境問題、人間生活と海との共存、失われた自然の回復などを学びました。

　　　参加人数：約80名

②　地引網体験

　　　日時：平成28年7月9日（土）　15：00～

　　　場所：淡路市岩屋　田ノ代海岸

　　　内容：漁業組合協力のもと、地引網の体験を行い、地で獲れる魚介類に直接触れ、それらを持ち帰ってもらいました。

　　　参加人数：約80名

1.事業目標の達成状況：

【申請時の目標】

①海のお話し会「海でつながる子供達～海と食と環境体験～」

　目標参加人数　250名

②地引網体験

　目標参加人数　250名

瀬戸内海のプランクトン、海藻類の生態系、海の環境問題、人間生活と海との共存、失われた自然の回復などを学ぶことで、参加者に身近にある明石海峡だけではなく、海洋全般への興味や好奇心を促し、また地引網の実体験や、獲た魚介類の食を通じ、人と海との深い関連性を再確認してもらうと同時に、その後の生活においても、海との関わりをより一層深めてもらうことを目的とする。

【目標の達成状況】

①海のお話し会「海でつながる子供達～海と食と環境体験～」

　目標参加人数　250名　実績　80名

②地引網体験

　目標参加人数　250名　実績　80名

2.事業実施によって得られた成果：

講演会では、海の生物や環境のことを学び、地引網体験では実際に魚介類に触れることによって、子供たちの海に対する興味や好奇心を育み、人と海との深い関連性を再確認してもらった。

また、明石海峡を挟む明石市民と淡路市民の交流が図られ、お互いの地域の特性の理解にも繋がった。

3.成功したこととその要因

　開催地の自治体だけでなく、大学や小学校、また漁業組合やマスコミなど、関連団体の協力依頼を早い段階から行い、各種調整がスムーズに行えたことに加え、イベント当日は看護師の配置や、AEDの準備など安全対策にも配慮した。

　また、マスコミにはイベントの事前募集や、当日の取材をお願いし、新聞に記事を掲載していただくことにより、イベントを広く周知できた。

4.失敗したこととその要因

　イベントを開催した7/9（土）に、小学生の社会体育である野球やサッカーの試合が重なり、参加者である小学生が分散し、目標人数に達しなかったこと。

　早い段階で小学校とも協議したイベント実施日だったが、社会体育の実施日は、市内だけに留まらない広域のものであるから、日程調整が非常に難しい。